

# KENWOOD

## セパレートカスタムフィットスピーカー KFC-XS174S

### 取付説明書

株式会社 JVCケンウッド  
© 2021 JVCケンウッド Corporation  
85E-0237-00/02

## はじめに

- ご購入いただきありがとうございます。
- 取付けにあたっては、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- この説明書に従って作業を進めてください。お読みになった後も大切に保管してください。
- 取付け作業の説明でわかりにくいやところがありましたら、購入店または下記当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

- ご注意
- 一部車種によってはシートベルトの取り外し、取付けがあります。取付けの際は車両側の規定トルクで締め付けてください。詳しくは販売店または自動車ディーラーにご相談ください。
  - 車種グレードによっては純正取付キットが必要となります。詳しくは販売店にご相談ください。
  - 取付け作業の際にスピーカーを裏向きに伏せて置くこととスピーカーが壊れる恐れがあります。ご注意ください。
  - 車種グレード年式によっては車両の一部に変更がある場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

## 必要工具

⊕ドライバー、⊖ドライバー、クリップリムーバー、プライヤー、ニッパー、ビニールテープ、レンチ (TONE社 MODEL 800Mなど)、カッターナイフ、電動ドリル、ヤスリ

## 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について	修理に関するご相談は
●保証書 この製品には、保証書を添付していません。 保証は、お買い上げ日を証明できるもの提示が必要です。 領収書などを大切に保管してください。	●保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは  
異常のあるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

●保証期間中は  
この保証期間に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。修理に原戻またはJVCケンウッド・サービスにお持ちください。お買い上げ年月日を証明できるものをご提示ください。  
保証対象外となります。  
●保証期間経過後は  
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。

●補修性能部品品の保有期間  
本製品の補修性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。  
補修性能部品品は、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持込修理  
この製品は持込修理とさせていただきます。本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

## 株式会社 JVCケンウッド

- 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区区役所 3-12  
●商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。  
0120-2727-87 (固定電話)またはフリーダイヤル / 0570-010-114 (携帯電話、PHS)またはナビダイヤル / 045-450-8950 (一部IP電話など)  
FAX 045-450-2308  
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区区役所 3-12  
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:30 (日曜、祝日および当社休日には休業させていただきます)  
●修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html) または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内
お買い上げいただきました製品を「登録」していただく、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。下記ウェブサイトでご登録のうえ、My-Kenwood をご利用ください。 https://jp.my.kenwood.com

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。
- ▲警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ▲注意 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物損のみが発生が想定される内容を示しています。

## 取り付けや配線について

### ▲警告

❗ 取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要ですよ。誤った取り付けや配線をするとう車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

包装用ビニール袋はかたづけ

製品の包装に付されているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にたたいてください。かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。

エアバッグの動作を妨げる場所は、絶対に取り付けと配線をしてはいけない

エアバッグが誤作動し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着時に取付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取付けやエアース配線に車の保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のホルダーやナットを絶対に使用しない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けられない

交通事故やけがの原因となります。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの端子を外す

外さずに作業をするとショートやによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のクイップ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取付ける場合はクイップ類、タンク、電気配線など干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理を行ってください。火災や感電の原因となります。

工具は寸法が合ったものを使用する

ボルト、ナットを製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示のトルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたため、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

コードは正しく接続する

スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。車体に直接押し止めをしたり、スピーカーコードの側面を共通にして接続すると、破損、火災の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

※ショート

電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード(電気配線)が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

## 取り付けや配線について

### ▲警告

❗ 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

電源コードの被覆を切った配線はない

電源コードの被覆を途中で切った、他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。ショートや火災、感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

配線がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品 (ブレーキ、ライト、ホーン、ウィンカー、ハザードなど) が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ぬいなどの小物部品の乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

### ▲注意

❗ 直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けられない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けられない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

コードの扱いに注意する

コードを物につける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

※ショート

電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード(電気配線)が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

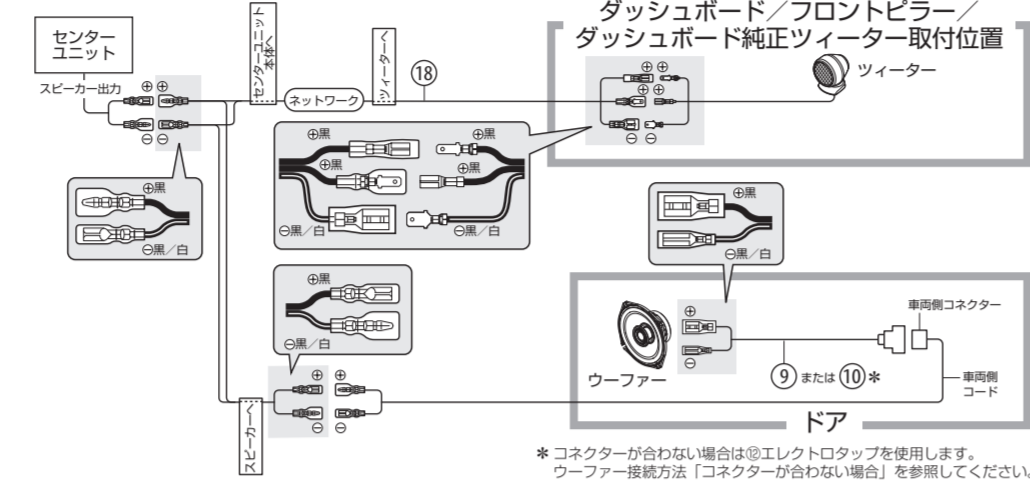
## セパレートカスタムフィットスピーカー KFC-XS174S 取付説明書

### ■ 接続のしかた

- ▲ネットワーク付コードは必ず付属のものを使用してください。使用しない場合は破損の恐れがあります。
- ▲使用しない端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。
- ▲バッテリーのマイナス端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

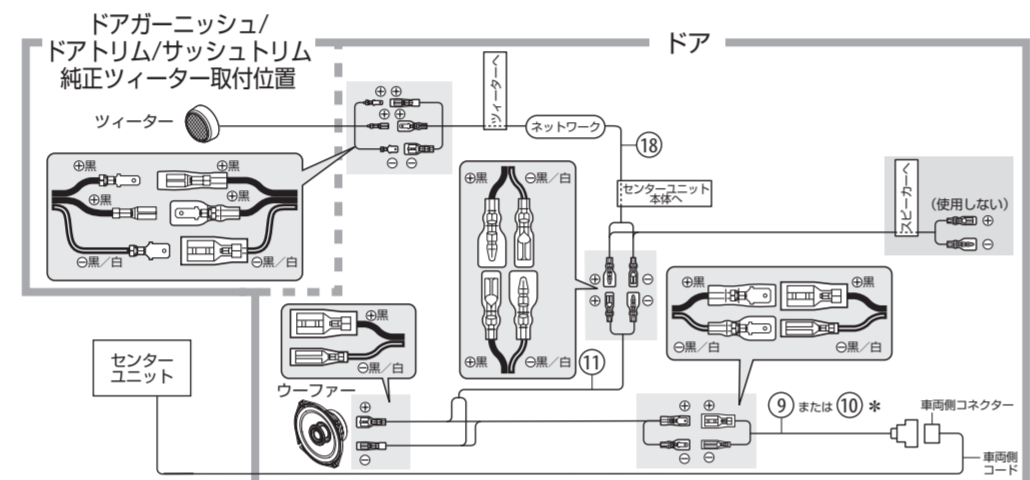
### ●【接続例1】センターユニットからネットワーク／ツイーターの配線をする (ダッシュボードおよびダッシュボード純正ツイーター取付位置へ取り付ける場合)

[取付例A: ダッシュボードへの取り付け(アングルマウント)] および [純正ツイーター取付位置へのツイーター取付方法 [取付例C]]を参照してください。



### ●【接続例2】ウーファー部からネットワーク／ツイーターの配線をする (ドアガーニッシュおよびドアトリム純正ツイーター取付位置へ取り付ける場合)

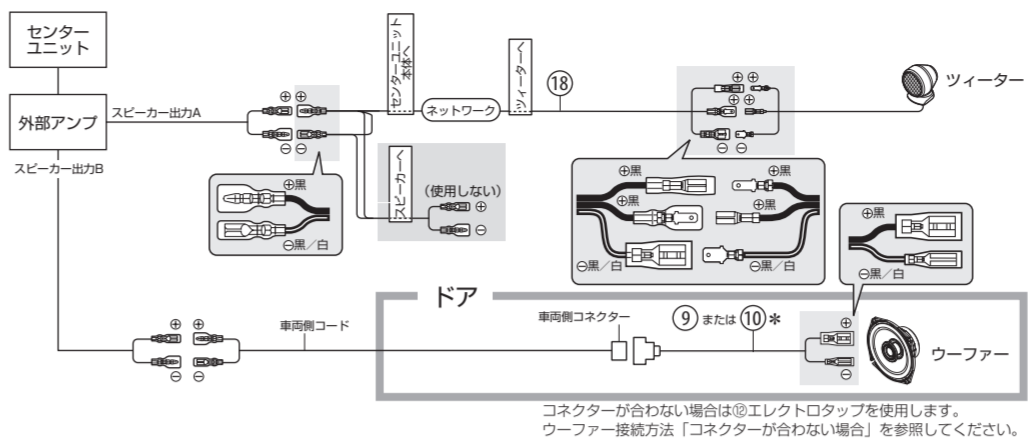
[取付例B: ドアミラー部への取り付け(サーフェスマウント)] および [純正ツイーター取付位置へのツイーター取付方法 [取付例C]]を参照してください。



※コネクターが合わない場合は⑫エレクトロタップを使用します。ウーファー接続方法「コネクターが合わない場合」を参照してください。

ご注意: 接続は、接続例を参照して⊕⊖の極性に注意して接続してください。

### ●【接続例3】外部アンプを用いたバイアンプ接続



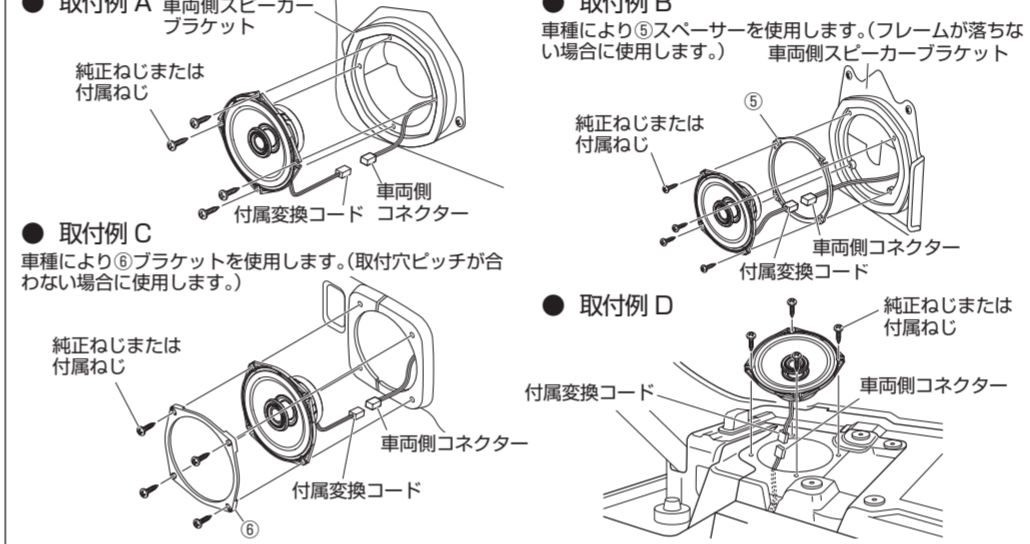
### ■ ウーファー付属品 ● 本機にはウーファー用に下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

①	タッピングねじ (φ6 × 20mm)	8	⑤	スペーサー (φ6 × 20mm)	2	⑨	変換コード (トヨタ、三菱車用)	2
②	タッピングねじ (φ5 × 20mm)	8	⑥	ブラケット (三菱車用)	2	⑩	変換コード (日産車用)	2
③	タッピングねじ (φ4 × 16mm)	8	⑦	パッキン (1ヘア分) (断面幅10mm、厚み3mm)	1	⑪	接続コード	2
④	小ねじ (M5 × 16mm)	8	⑧	パッキン (1ヘア分) (断面幅10mm、厚み15mm)	1	⑫	エレクトロタップ	4

### ■ ウーファー取付例

▲コードをはさまないようにご注意ください。

※車両側コネクターに接続した変換コードへのスピーカーの接続方法は「ウーファー接続方法」を参照してください。



### ■ ツイーター付属品 ● 本機にはツイーター用に下記の部品が付属されていますのでご確認ください。

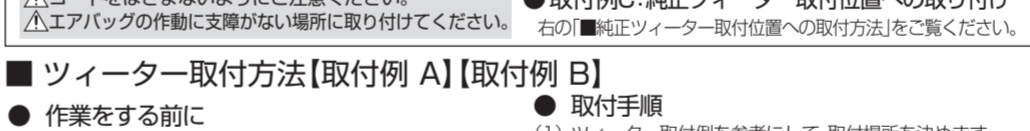
⑬	タッピングねじ (φ3 × 12mm)	4	⑮	両面テープ	2	⑰	ブラケット	2	⑱	ネットワーク付コード	2
⑭	スピードナット (φ3)	4	⑯	取付金具	2						

### ■ ツイーター取付例

#### ●取付例A: ダッシュボードへの取り付け (アングルマウント)

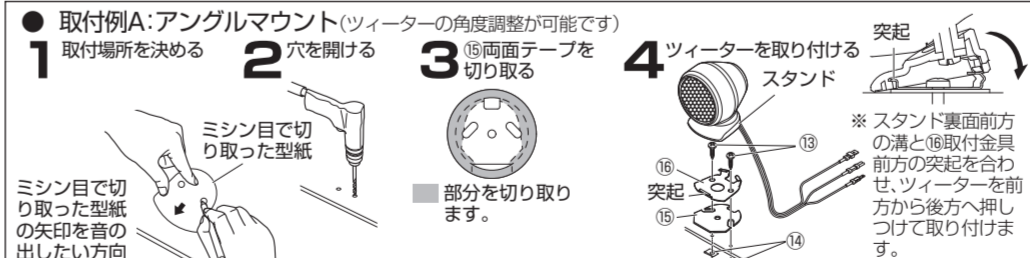


#### ●取付例B: ドアミラー部への取り付け (サーフェスマウント)

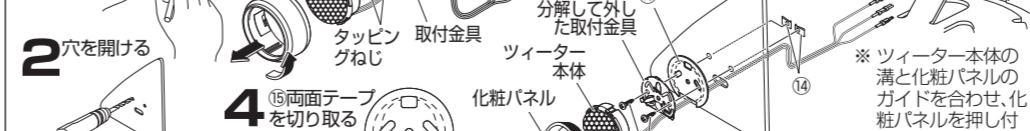


#### ■ ツイーター取付方法 [取付例 A] [取付例 B]

- 作業をする前に  
穴加工前に、化粧箱の型紙(内フリップにあります)で取り付け場所を確認してください。  
雑音防止のため、車両側の電装系コード、高電流コード、その他の雑音源から離して配線してください。  
ショート防止のため、可動部品、シャープエッジ等から離して配線してください。  
配線が終了するまで、車を始動しないでください。またセンターユニットの電源を入れないでください。
- 取付手順  
(1) ツイーター取付例を参考に、取付場所を決めます。  
(2) 型紙を用いてフェルトペン等で抜穴のマークを付けます。  
(3) マークに沿って、スピーカーコード用穴とねじ穴をあけます。  
(4) 両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。  
(5) 切り取った両面テープと取付金具あるいはツイーターを分解して外した取付金具をタッピングねじあるいはスピードナットを用いて所定の位置に取り付けます。



#### ●取付例B: サーフェスマウント(ツイーターの角度調整はできません)



▲使用しない端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。

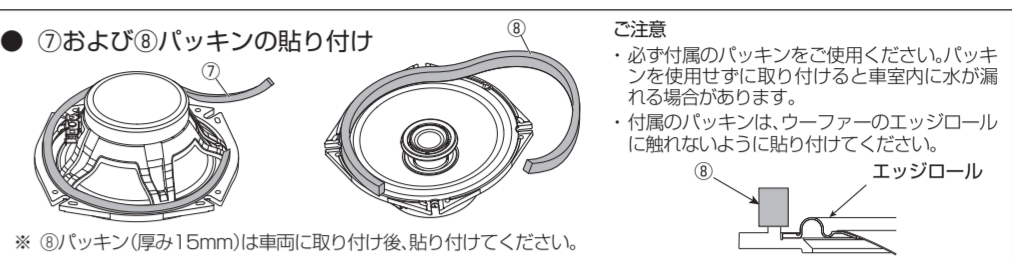
▲使用時や直射日光下ではツイーターが高温になります。やけどの危険がありますので十分に車室内を冷却してから調整を行ってください。

## セパレートカスタムフィットスピーカー KFC-XS174S 取付説明書

❗ スピーカー中心部を持たない  
取り扱い時にスピーカー中心部を  
持たないでください。  
スピーカー中心部が外れて落下  
し、破損や怪我の原因となります。

Hi-Res AUDIO  
当社は日本オーディオ協会のHi-Res定義に  
準拠した製品にこのロゴを冠して推奨してい  
ます。ロゴは登録商標です。  
Hi-Res AUDIO  
ハイレ音品質で音楽をお楽しみになる場合はプレーヤーか  
らスピーカーまで全てハイレ音製品でカーオーディオシステ  
ムを構成することがおもしろいです。

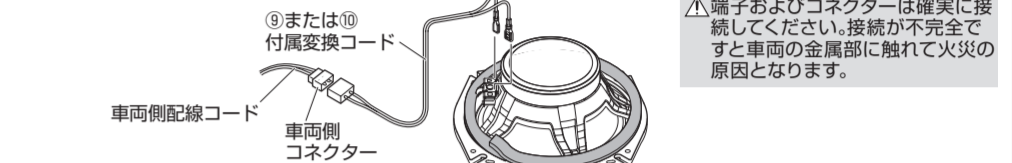
### ■ ウーファー取付準備



### ■ ウーファー接続方法

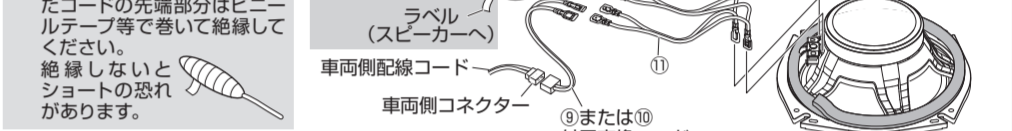
#### ● 付属変換コードの使用例

センターユニットから配線をする場合(■接続のしかた[接続例1]参照)

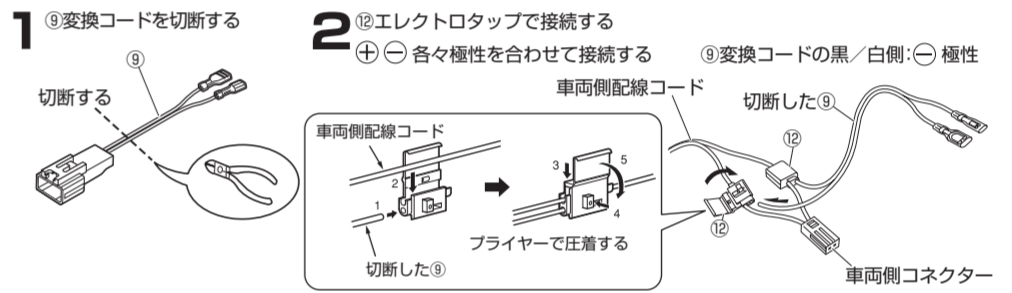


▲ウーファーの端子が曲がらないようにご注意ください。

▲端子およびコネクターは確実に接続してください。接続が不完全ですと車両の金属部に触れて火災の原因となります。



#### ●コネクターが合わない場合(⑫エレクトロタップの使用例)

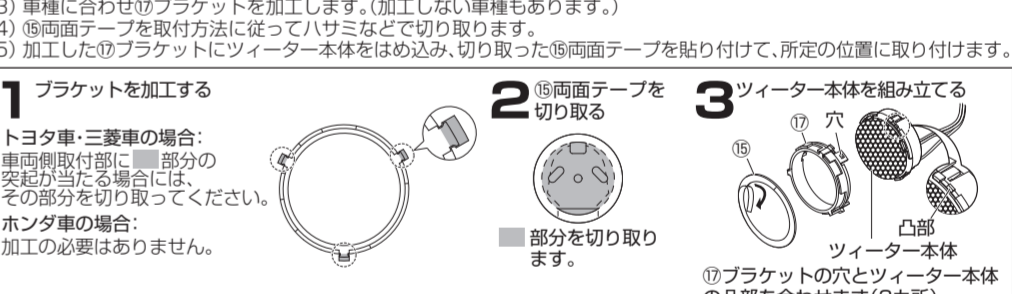


ご注意  
スピーカー、スピーカーコード、ネットワークがガラスなどに接触しないように取り付けてください。

#### ■ 純正ツイーター取付位置への取付方法 [取付例 C]

※車種によっては純正ツイーターと交換することができます。詳しくは当社ホームページの車種別取付情報の「ツイーター純正位置取付方法」をご覧ください。

●取付手順  
(1) 純正ツイーターをガーニッシュやツイーターグリルから取り外します。  
(2) 左の「ツイーター取付方法」[取付例B: 3]を参照し、ツイーターを分解します。  
(3) 車種に合わせてブラケットを加工します。(加工しない車種もあります。)  
(4) 両面テープを取付方法に従ってハサミなどで切り取ります。  
(5) 加工した⑭ブラケットにツイーター本体をはめ込み、切り取った⑮両面テープを貼り付けて、所定の位置に取り付けます。



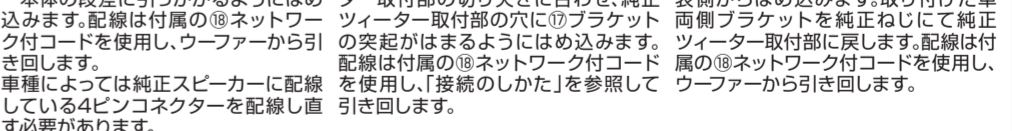
#### ●トヨタ車への取付例



#### ●ホンダ車への取付例



#### ●三菱車への取付例



#### ■ 角度の調整(アングルマウントの場合)

本製品のツイーターは取付け後も音楽などを楽しむために最適な角度に調整することができます。図のような方法で、ゆっくりと向きを変えて左右の音のバランスがちょうど良くなる角度にします。

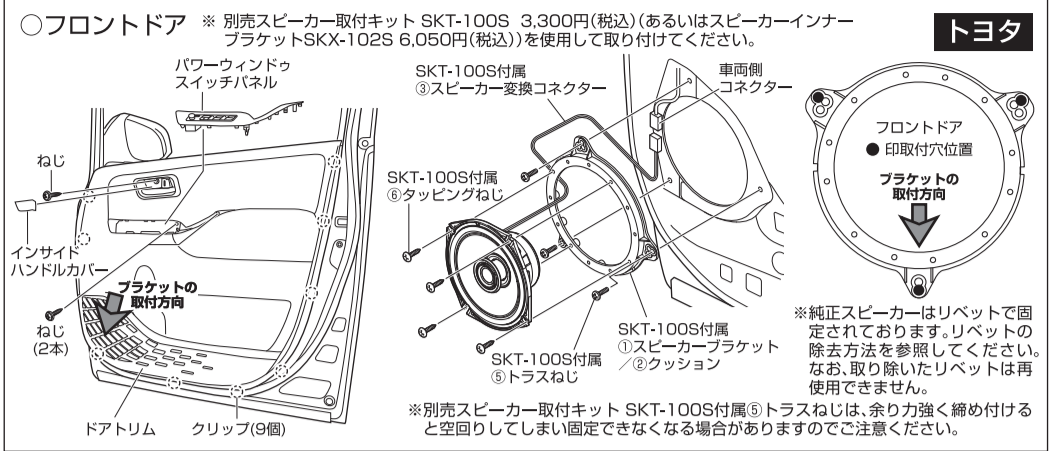
※無理な角度に調整しないでください。  
※台座を押さえずに回転させると、ツイーターが取付金具から外れる場合があります。  
※頻りに角度調整を行ったり、無理な力で動かすと、調整された角度を保てなくなる場合があります。

▲使用しない端子はショート事故防止のため絶縁テープを巻いて保護してください。

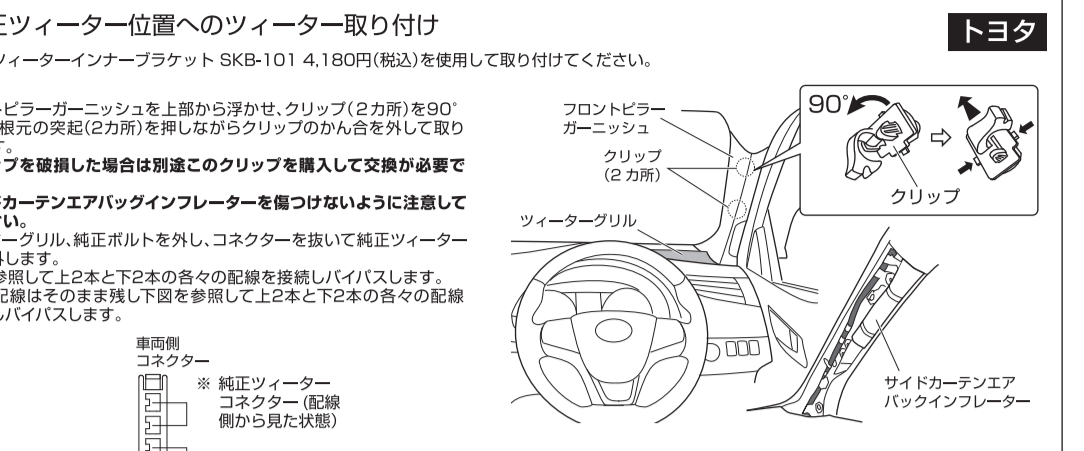
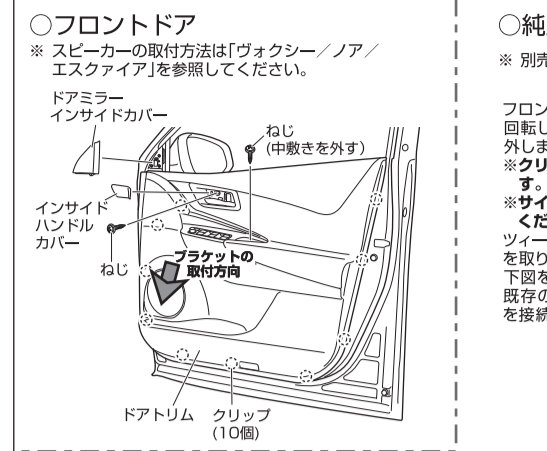
▲使用時や直射日光下ではツイーターが高温になります。やけどの危険がありますので十分に車室内を冷却してから調整を行ってください。

※ここにある取付例は、基本的に運転席側を表しています。

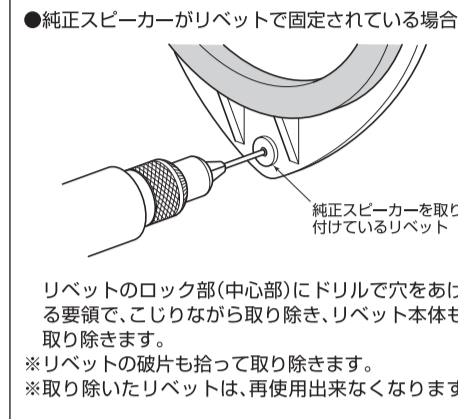
ヴォクシー/ノア(H26/1~現在)/エスクァイア(H26/10~現在)取付例



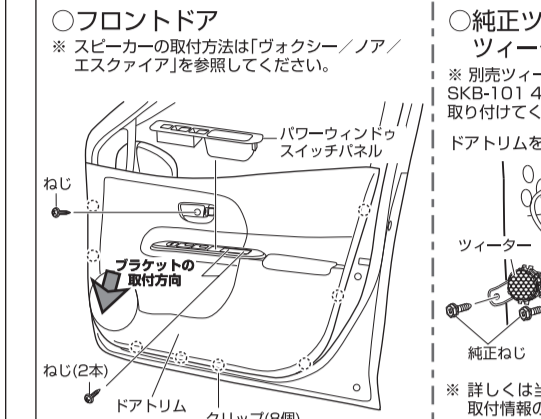
ハリアー(H25/12~現在)取付例



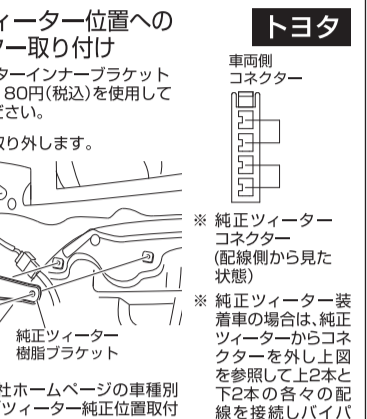
リベットの除去方法



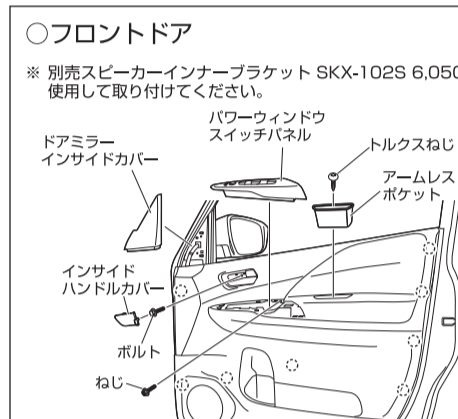
アクア(H23/12~現在)取付例



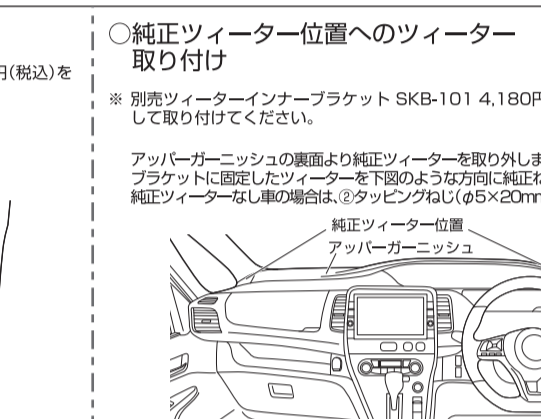
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



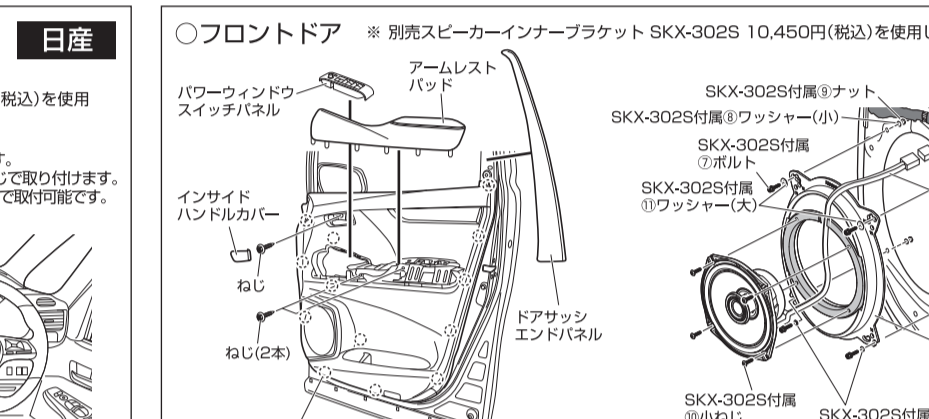
セレナ(H28/8~現在)取付例



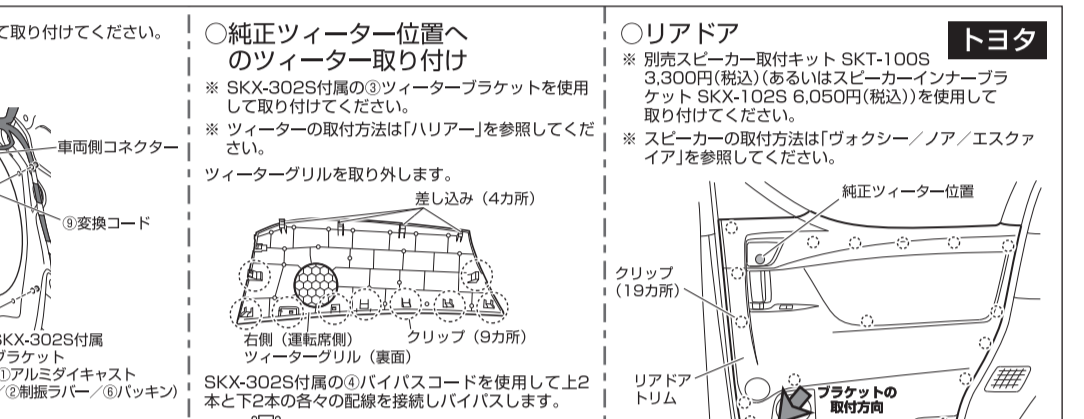
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



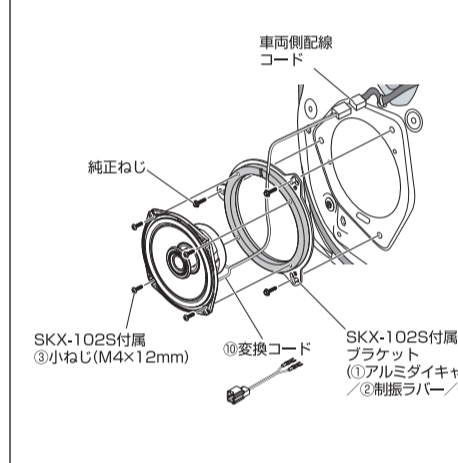
アルファード/ヴェルファイア(H27/1~現在)取付例



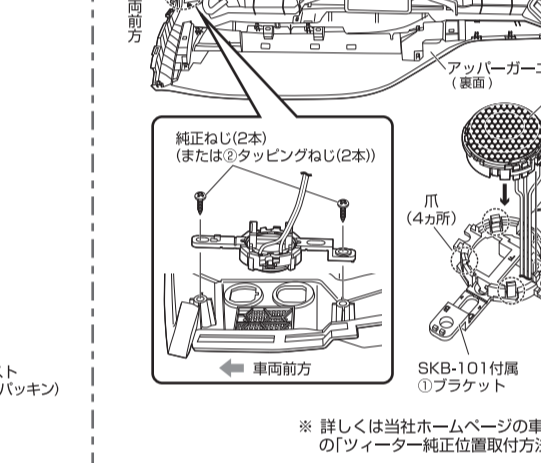
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



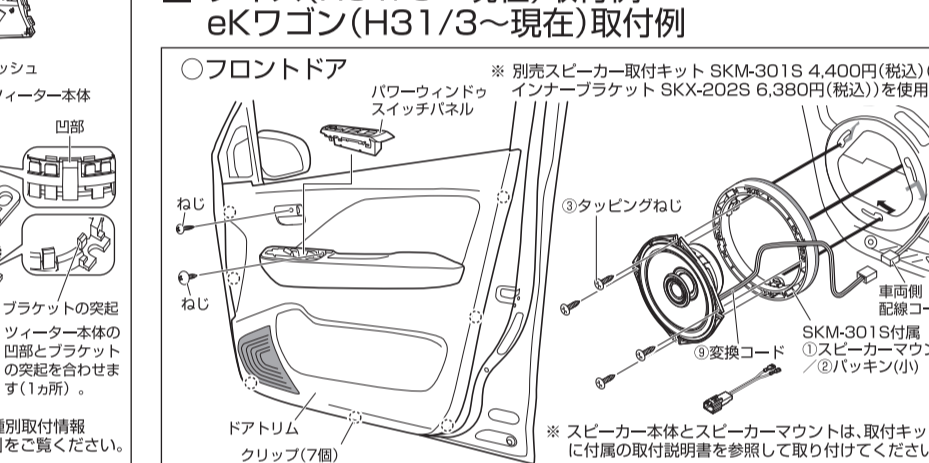
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



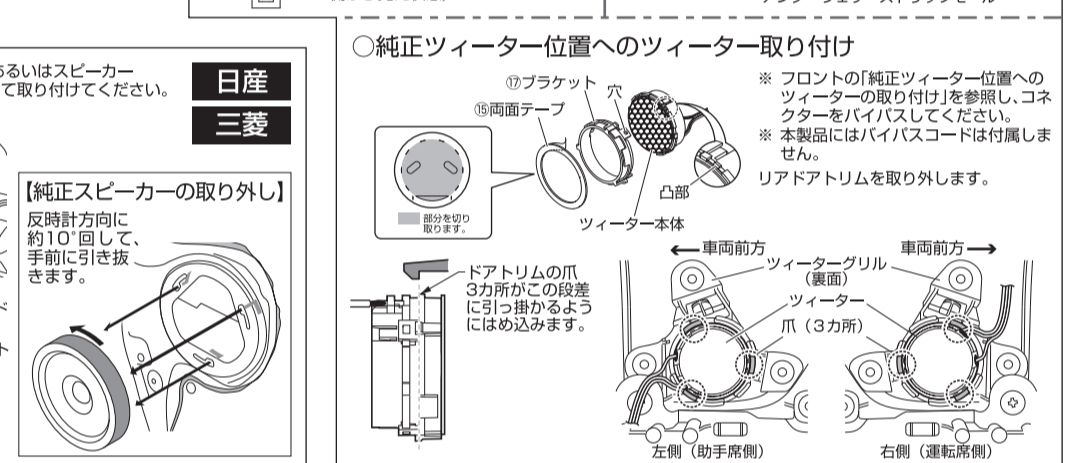
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



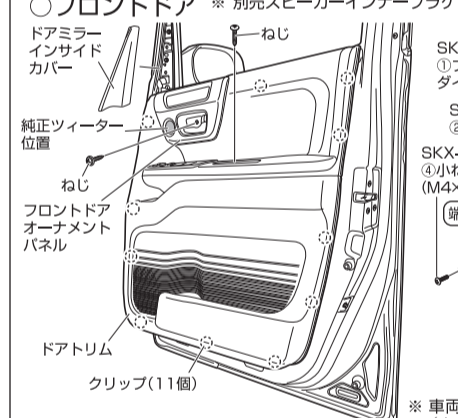
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



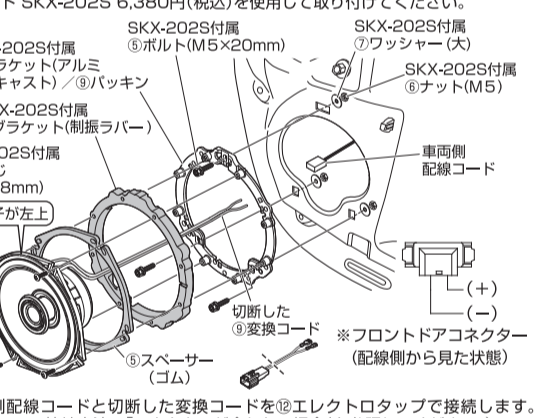
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



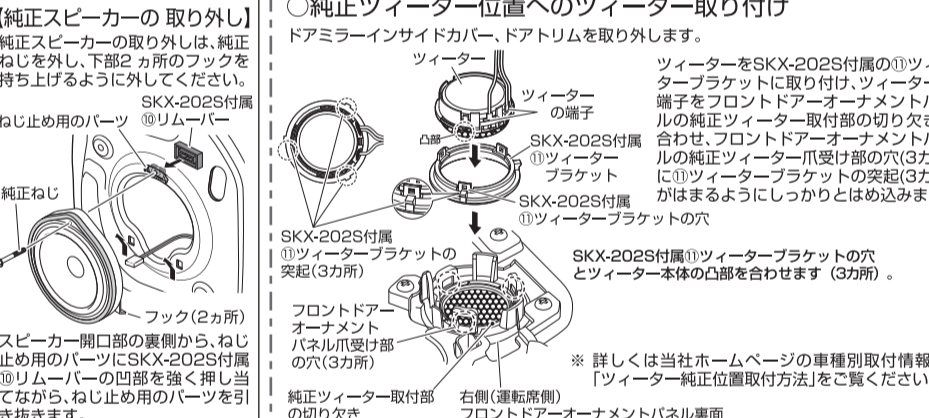
N-BOX カスタム(H29/9~現在)取付例



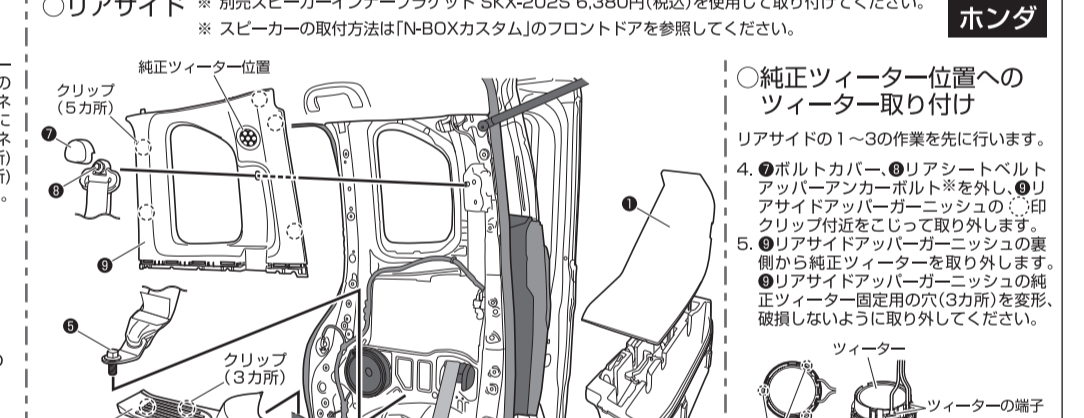
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



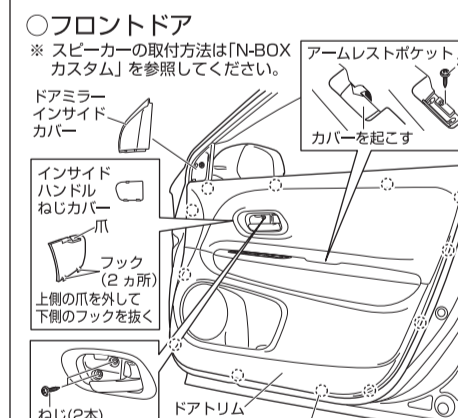
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



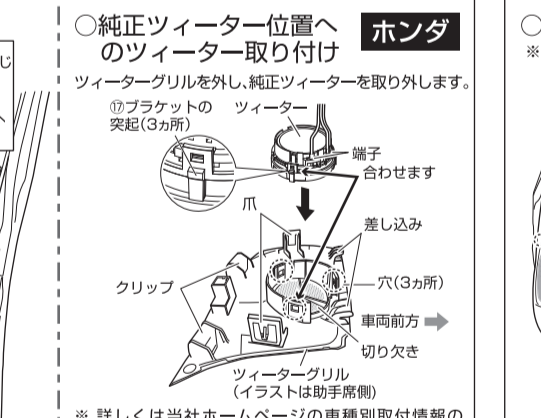
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



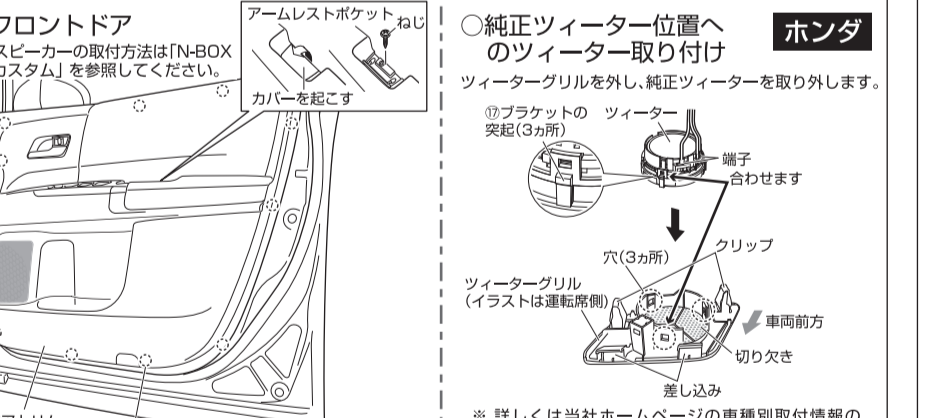
ヴェゼル(H25/12~現在)取付例



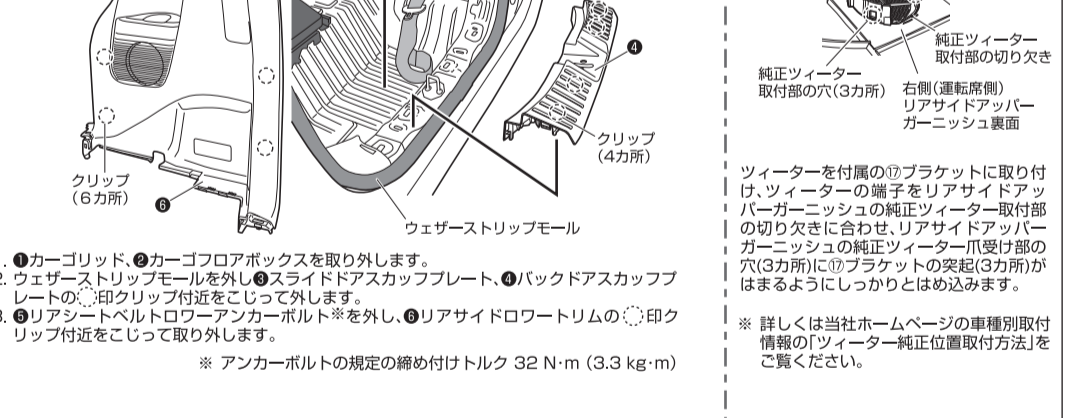
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



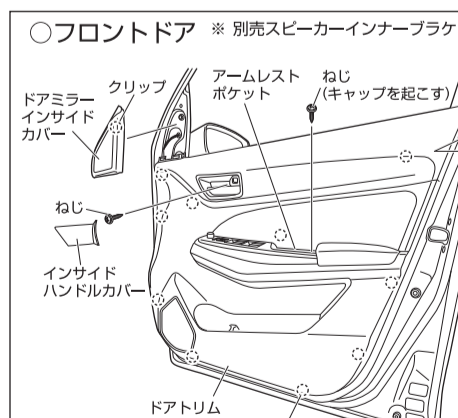
オデッセイ(H25/11~現在)取付例



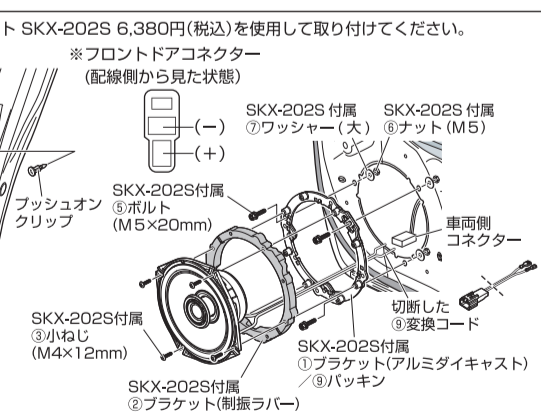
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



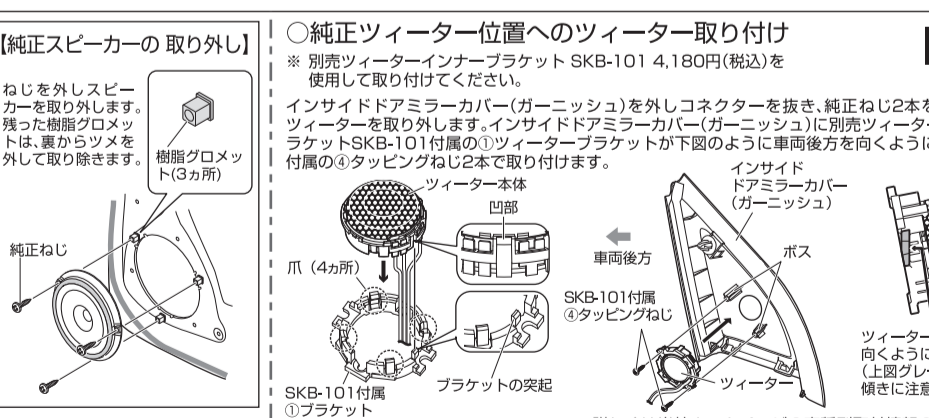
スイフト(H29/1~現在)取付例



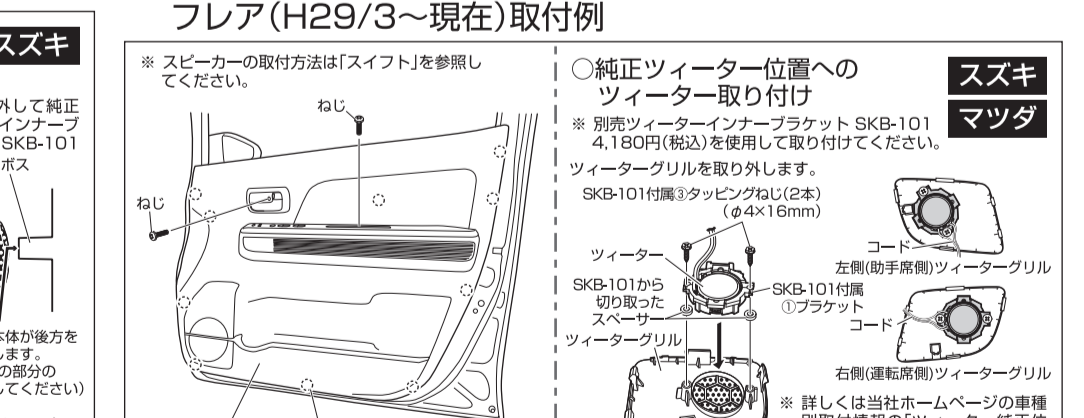
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



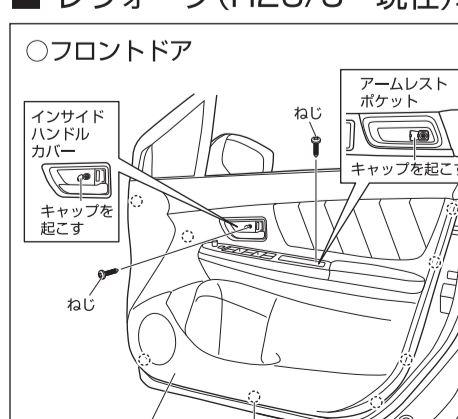
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



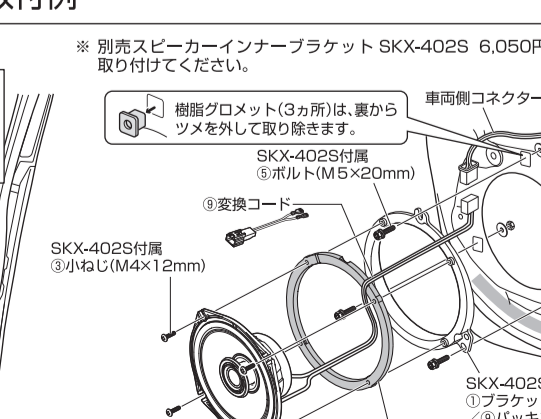
ワゴンR/ワゴンR スティングレー(H29/2~現在)取付例



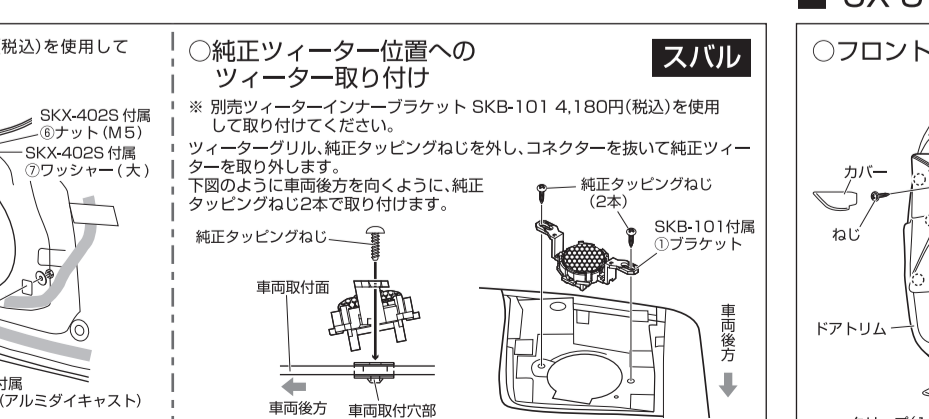
レヴォーグ(H26/6~現在)取付例



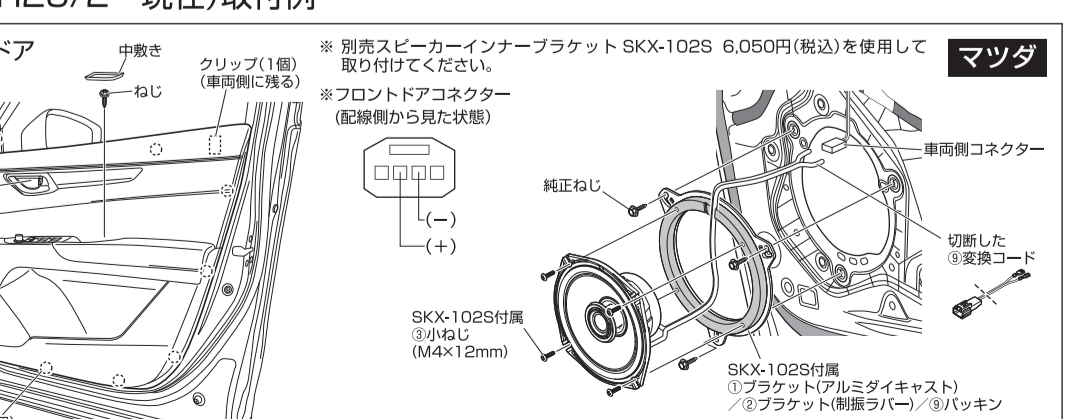
純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



レヴォーグ(H26/6~現在)取付例



純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



純正ツイーター位置へのツイーター取り付け



純正ツイーター位置へのツイーター取り付け

